

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評価理由等 | 備考 | |

基本方針 1 循環型社会定着へ向けた市民・事業者・行政の三者一体による取り組み

◆基本施策 1-1 家庭ごみの発生抑制の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------------|-------------------|---|---|--|---|--------|---|--|--|
| 1-1-1 | 家庭ごみの発生抑制の推進 | ごみ減量企画 | 家庭ごみの発生抑制に向けて、各種施策と連携し、実施します。 | ①2R啓発の強化による可燃ごみ減量の推進 ②生ごみの水切り徹底の啓発 ③チャレンジ800実行チームへの参画 | ①平成30年度サンデーサイクルと小型家電回収のご案内チラシにごみ減量チェック表を記載、えこねこ通信ヘリユースの記事を掲載 ②・③長野県が設置・運営する「信州ごみげんねっと」の活用し、生ごみ自家処理実践講座の募集等を行い、サイトの充実を図る。 | ①サンデーサイクルと小型家電回収のご案内チラシ及び広報ながの7月号特集ページ「3Rの実践」に掲載 ・3Rとは ・リデュースを心掛けましょう ・家庭でできるごみ減量チェック ・「30・10運動」周知啓発 ②「信州ごみげんねっと」にえこねこ通信・食品ロス削減を掲載 ③チャレンジ800実行チームの会議へ出席し、他自治体・団体と情報交換 | 80%以上 | A | | |
| 1-1-2 | 生ごみの減量化の推進 | ごみ減量企画・環境保全温暖化対策課 | 生ごみの自家処理を促進するため、生ごみ自家処理機器購入費補助金、生ごみ自家処理実践講座及び生ごみ減量アドバイザー派遣制度等を継続します。 また、ながの環境パートナーシップ会議等と連携しながら、一次生成物や生ごみ堆肥の有効活用に向けて検討します。 | ①生ごみ自家処理機器購入費補助金の交付 ②段ボール箱を使用した生ごみ自家処理実践講座の開催 ③ガーデニング・野菜づくり講座の開催 ④生ごみ減量アドバイザーの派遣 ※段ボール講座を行う場合、規定材材について希望に応じあつせん ⑤生ごみ減量アドバイザー養成講座の開催 ⑥生ごみ減量アドバイザー研修会の開催 ⑦生ごみ減量アドバイザー例会での意見交換会等の実施 ⑧一次生成物回収事業 | ①生ごみ自家処理機器購入費補助金 申請個数250個 ②開催回数 21回 ③開催回数 各1回 ④派遣回数 25回 ⑤養成講座開催回数（隔年開催） ⑥研修会開催回数 3回 | ①生ごみ自家処理機器購入費補助金 申請個数149個（12月末現在） ②開催回数 20回（2月末現在） ③開催回数 各1回 ④派遣回数 16回（2月末現在） ⑤養成講座開催回数 開催なし（隔年開催） ⑥研修会開催回数 3回 | 80~60% | B | | |
| 1-1-3 | 容器包装類削減のための啓発 | ごみ収集啓発・環境保全温暖化対策課 | 家庭ごみの多くを占める容器や包装を削減するため、ながの環境パートナーシップ会議、NPO、市民活動団体等と連携し、市民一人ひとりがマイバッグ持参や過剰な包装は断るなどの取り組みを実施するよう啓発します。 また、事業所、県及び関係団体等と連携し、家庭ごみの減量にもつながるレジ袋有料化の拡大を推進します。 | ①レジ袋使用削減のためのマイバッグ持参運動等の実施（毎月5日のキャンペーン、持参率調査、市民団体・事業者との懇談会など） ②広報紙等広報媒体を通じて、容器包装削減のための啓発 ③ながの環境パートナーシップ会議レジ袋使用削減プロジェクトチームとの連携による容器包装削減活動の実施及び事業者による有料化への働きかけ、関係団体と協議 | ①マイバッグ持参率調査3月（2日間、市内5店舗）実施 ・マイバッグ持参率60% ②広報紙でのマイバッグ持参啓発2回 ③ながの環境パートナーシップ会議「レジ袋使用削減プロジェクトチーム」を通じて取り組み また、清掃センターへ見学に来た児童にレジ袋削減パンフレットを配布（施策番号1-6-3） | ①3月中にマイバッグ持参率調査実施予定（平成30年3月調査時60.3%） ②ながの環境パートナーシップ会議「レジ袋使用削減プロジェクトチーム」との協働により、他団体が実施するイベントへの参加2回 ③市内15か所の事業所へレジ袋使用削減に関するアンケートを実施 | 80%以上 | A | | |

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|----------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | |

◆基本施策1-2 事業ごみの発生抑制の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------------|--------------------------|--|--|--|---|-------|---|--|---|
| 1-2-1 | 事業ごみ減量マニュアル等を活用した減量化の推進 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | 事業ごみの発生抑制を推進するため、事業ごみ減量マニュアル等を活用し、減量化を推進します。 | ①ホームページの整備 ・排出事業者責任に関する解説及び啓発 ・減量化事例の紹介 ②事業所での出前講座の実施 | ②事業所での講演会実施回数5回 | ①市ホームページ「事業所から出るごみの処理方法」を整備、排出事業者責任について掲載 また環境省の「排出事業者責任に基づく措置に係るチェックリスト」を掲載 ・多量排出事業所に減量計画書提出の依頼文送付の際に「排出事業者責任」に関するチラシも同封 | 80%以上 | A | | |
| 1-2-2 | 減量計画書等による計画的取組の徹底 | ごみ収集啓発・庶務課・公共施設マネジメント推進課 | 多量排出事業所に対し、減量計画書の提出の徹底を図り、計画的取組を促進します。 また、市庁舎及び市有施設から発生するごみの発生抑制を推進します。 | ①減量計画書提出の徹底 ※対象：多量排出事業所（1日50kg以上排出） ・計画書未提出事業所への立ち入り調査の実施 ②長野市役所環境保全率先実行計画に基づき、職場環境美化推進委員を通じて周知啓発 | ①提出率 98% ②職場環境美化推進委員による計画の実施状況の把握と報告を実施（2回） | ①提出率 99%（204/206事業所） ②職場環境美化推進委員による計画の実施状況の把握と報告を年2回実施（30年度上半期は実施済、下半期は年度末に実施予定） | 80%以上 | A | | 【参考・本庁舎実績】 (3月末見込み) *（ ）内はH29年度、H28年度値 一般廃棄物排出量 214.2t (261.3t、219.1t) 可燃ごみ排出量 19.5t (21.2t、22.8t) リサイクル率 90.9% (91.9%、89.6%) |
| 1-2-3 | 多量排出事業所への立入指導の実施 | ごみ収集啓発 | 計画書の分析結果に基づく具体的な啓発・指導を行います。 | ①多量排出事業所への立入調査の実施 ②新規の多量排出事業所への立入調査の実施 | ①・②新規及び未提出事業所対象 | ①未提出事業所 9件 ②新規事業所 1件 計10件 | 80%以上 | A | | |
| 1-2-4 | 多量排出事業所以外の事業所が排出する事業ごみ削減の推進 | ごみ収集啓発 | 事業ごみの排出実態調査と調査結果に基づく具体的な啓発を実施し、事業所のごみ減量化への取組を推進します。 | ①業種を定めた個別実態調査の実施 ②職場での分別徹底の啓発 | ①市内飲食店関係団体に協力を依頼し、実態把握調査を実施 | 権堂・中央通りの事業所へ訪問、啓発842件 また、権堂周辺の商店会等にもチラシを配布 | 80%以上 | A | | |

◆基本施策1-3 社会的責任を意識した事業活動の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------|---------------|---|---|--|--|--------|---|--|--|
| 1-3-1 | ながのエコ・サークルの普及促進 | ごみ収集啓発 | ながのエコ・サークル認定制度の普及促進を図るとともに、認定事業所の事後調査や取組事例の紹介を行います。 | ①広報媒体等を活用した制度の普及啓発 ②認定事業所の現状把握及び認定事後調査の実施 | ①新規認定数 5事業所 ②認定事業所206事業所中10事業所を現地調査し、取組事例を広報等で紹介 | ①新規及びランクアップ認定数事業所数5件（予定） ②現存認定事業所201事業所の内、15事業所を調査。12月にホームページで取組事例を紹介 31事業所 | 80%以上 | A | | |
| 1-3-2 | 過剰包装削減の推進 | ごみ収集啓発 | 事業所によるリユース梱包や簡易包装など、製造・流通・販売段階での過剰包装削減の取組を支援していきます。 | ①ながの環境パートナーシップ会議「レジ袋使用削減プロジェクトチーム」で容器包装類削減活動について関係団体と協議 | | ①ながの環境パートナーシップ会議「レジ袋使用削減プロジェクトチーム」で関係団体と協議 | 80%以上 | A | | |
| 1-3-3 | イベントごみの発生抑制の推進 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | イベントごみの排出実態を把握し、イベント主催者や会場提供者等関係者の協力を得て、ごみをできるだけ出さないう取組を進めます。 | ①イベントごみの実態を把握し、ごみの発生抑制を図る | ①イベントごみの排出状況調査の実施 ・イベント時のごみ持ち帰りを啓発 ・イベント主催者に対するリユース食器の提案 | 飯綱高原ウォーキングイベント、ポアールス長野ホームタウンデー、県立大学祭等の排出状況を調査 | 80~60% | B | | |

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|----------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | |

◆基本施策1-4 循環利用の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---------------------|---|--|--|--|--------|---|---|--|
| 1-4-1 | 集団回収による資源物回収の促進 | ごみ減量企画 | 資源物の集団回収について、資源回収報奨金を交付し、自治会等の自主的な再資源化活動を支援するとともに、循環利用に係る意識啓発を図ります。 | ①資源回収報奨金の交付 ②リユースビン類及び布類回収の推進 ③リサイクルハウス設置事業補助金の交付 | ①実施団体数 560団体 ②ビン類・布類回収量 計265 t ③交付件数 20団体(棟) | ①実施団体数 550団体 ②ビン・布類回収量 計198t ③受付数 7団体(棟) | 80~60% | B | | |
| 1-4-2 | 使用済小型家電回収の実施 | ごみ収集啓発・清掃センター | 使用済小型家電の再資源化を促進し、不燃ごみの削減と資源の有効活用を図るため、効率的な回収方法を検討し、実施します。 | ①小型家電リサイクル実証実験の状況を検証し、持続的で効率的な回収方法を検討 ②清掃センターでのピックアップ回収の実施 ③「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加 | ①実証実験として、回収協力店（家電商）とサnderリサイクルにて回収を実施 ・回収協力店等受入拠点からの効率的な収集・運搬方法について認定事業者や家電商と検討し、持続可能な回収システムを構築する。 ②年間を通じ資源化施設で小型家電のピックアップ回収を継続 ③本庁、支所及び県庁本館受付で携帯電話及びスマートフォンの回収 | ①回収協力店（家電商31店舗）とサnderリサイクル（2会場）にて回収を実施。回収量は、順調 ・関係事業者と協議をし、31年度以降についても、試行することとなった。 ・ながの環境フェア（9月）にイベント回収を実施 ②清掃センター資源化施設で年間を通じてピックアップ回収を実施 回収量2,630kg（2月末時点） ③50kg H31.2時点 | 80%以上 | A | ①回収実績（家電商50,561kg、サnderリサイクル24,734kg、ながの環境フェア412kg H30.1月現在） ③H29~30計 85kg | |
| 1-4-3 | サnderリサイクルによる資源物回収の強化 | ごみ収集啓発 | サnderリサイクルによる資源物の拠点回収を実施します。 | ①サnderリサイクル会場（20会場）周知のためのチラシの作成と活用により排出機会の周知に努める | ①年1回 | ①チラシを作成しごみカレンダーと併せて配布 | 80%以上 | A | | |
| 1-4-4 | リフレッシュプラザを拠点とした再使用の促進 | リサイクルプラザ指定管理者 | 長期使用や再使用を促進するため、不用品の交換・提供やリサイクル関連イベント等を開催します。 | ①不用品交換や提供の場として、リサイクル広場、レインボー広場、フリーマーケット、おさがり交換会等を開催 | ①リサイクル広場開催回数 6回 レインボー広場情報掲載回数 12回 フリーマーケット開催回数 7回 | ①リサイクル広場開催回数 7回 レインボー広場情報掲載回数12回 フリーマーケット開催回数 7回 おさがり交換会開催回数 6回 | 80%以上 | A | | |
| 1-4-5 | 機密文書再資源化への誘導 | ごみ収集啓発 | 事業所から発生するオフィスペーパーなどの紙類について再資源化を促進するとともに、焼却処理されることが多い機密文書についても再資源化への誘導策を検討します。 | ①機密文書を含む紙類の資源化ルートの現状調査及び情報提供を実施 | ①多量排出事業所調査及びそれ以外の事業者調査に併せて訪問調査を実施 | ①多量排出事業所 事業所に対し訪問調査を実施。事業系古紙の分別・リサイクルチラシを作成し、調査時に配布。 | 80%以上 | A | | |
| 1-4-6 | 事業系有機性廃棄物の資源化の促進 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発・農業政策課 | 飲食業や食品関連事業所等から発生する生ごみの資源化の促進に向けて、食品リサイクル法関連の情報提供を行うほか、事業者が行う資源化の取組を支援していきます。 | ①飲食業・食品関連事業所等の食品廃棄物の資源化を促進 ②「環境にやさしい農業地域循環モデル事業」として、市農業研修センターで栽培した野菜を宿泊施設へ販売し地産地消を図るとともに、同施設で発生する野菜くずを堆肥として同センターのほ場へ還元する。 | ①多量排出事業所及びそれ以外の事業所の調査時に併せて資源化事業者やフードバンク等の情報を提供 ②国民宿舎松代荘と市農業研修センターで野菜くずに係る処理契約を締結し、野菜くずを堆肥化する。 回収量 1,200kg | ①事業所に対し訪問調査を実施の際に、生ごみ資源化事業者やフードバンク等の情報を掲載した事業系生ごみ減量・リサイクルチラシを作成し、調査時に配布 ②回収量1,200kg | 80%以上 | A | | |

平成30年度ごみ処理実施計画 具体的施策一覧

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|--------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評価理由等 | 備考 | |

基本施策 1-5 地球温暖化防止等への配慮

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------------|-------------------|--|--|--|--|-------|---|--|--|
| 1-5-1 | 「長野市バイオマスタウン構想」と連携した取組の推進 | ごみ減量企画・環境保全温暖化対策課 | 「長野市バイオマスタウン構想」と連携し、廃棄物系バイオマスの有効活用のための取組を推進していきます。 | ①バイオマスタウン構想推進協議会への参画と併せ、廃棄物系バイオマスの利活用検討 | ①バイオマス産業都市構想の検討 ・施策番号3-2-5と併せ、剪定枝葉等利活用の検討 | ・バイオマス産業都市構想案の内容を引き続き検討 | 80%以上 | A | | |
| 1-5-2 | 地球温暖化防止にかかる数値指標の算出・検証 | ごみ減量企画・環境保全温暖化対策課 | 地球温暖化防止にかかる数値指標として、廃棄物処理に伴う温室効果ガスの排出量等を算出し、経年変化について検証を行います。 | ①第五次長野市役所温暖化防止実行計画で算出する「長野市役所 温室効果ガス排出量」のうち、一般廃棄物（ごみ焼却）から排出される温室効果ガスの合計を継続して捉える。 | ①温室効果ガスの経年変化を計測 H28 23,938t H27 27,585t H26 20,500t H25 19,166t H24 25,278t | 長野市役所 温室効果ガス排出量 H29 29,859t | 80%以上 | A | | |
| 1-5-3 | 再生品・環境配慮物品等の利用促進 | リサイクルプラザ指定管理者 | 市民や事業者に対して、再生品や環境配慮物品等の利用促進を図ります。 | ①再生品利用等が体験できる各種講座・教室を開催したり、ながの環境フェア、展示会のイベントで情報を発信する。 | ①ながの環境フェア 来場者数6000名 ・体験講座・教室の開催回数 24回 | ①ながの環境フェア 来場者数3700名 ・体験講座・教室の開催回数 26回 | 80%以上 | A | | |
| 1-5-4 | 環境にやさしい収集車両の導入及びエコドライブの推進 | ごみ収集啓発 | 収集運搬段階における環境負荷の低減を図るため、委託事業者の協力を得ながら、低公害型の収集車両の導入を促進するとともに、バイオマス燃料の導入、エコドライブ（省燃費運転）の実践等を促進します。 | ①委託事業者に対し、エコドライブの実践を要請 | | ①委託事業者との定例会議でエコドライブを要請 | 80%以上 | A | | |

基本施策 1-6 環境教育の充実

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------------------|---------------------------------------|--|---|---|---|-------|---|--|--|
| 1-6-1 | ゴミ通信・副読本等を活用した幼児期や学童期の環境教育の推進 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発・環境保全温暖化対策課・保育幼稚園課・学校教育課 | 「ながのゴミ通信」の発行や保育幼稚園課、教育委員会・学校等との連携による副読本等の作成、生ごみ自家処理実践講座の開催などを通じ、ごみに関する環境教育・学習機会の拡大を図ります。 | ①えこねこ通信の発行 ②園児を対象とした「段ボール箱を使用した生ごみ処理教室（パネルシアター）」等の開催 ③環境学習記事の掲載（えこねこ通信） ④環境教育・環境学習に関する教職員研修講座の開催 | ①えこねこ通信11号 ②開催回数 5回 ③掲載回数 1回（11号2月） ④1回（廃棄物関係） | ①えこねこ通信11号発行 ②開催回数 5回 ③1回 ④1回（廃棄物関係） | 80%以上 | A | | |
| 1-6-2 | 高校や大学と連携した環境調査・啓発活動等の研究の検討 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | 市内の高校・大学と連携し、環境調査や啓発活動等の研究を検討します。 | ①インターンシップ等の受入れ、併せて学生の3Rに関する意識調査 ②災害備蓄食品の有効活用について、長野県立大学と連携し、研究 | ①年1回 | ①年1回 ②連携事業「災害備蓄食品の有効活用」レシビ考案 | 80%以上 | A | | |
| 1-6-3 | 長野市清掃センター等施設見学の推進 | 清掃センター | 清掃センターで処理されるごみの量、施設の大きさをリアルに体感することで、ごみ減量とリサイクルの大切さを学べる施設見学を実施します。 | ①学校間の見学日程を調整し、見学者の年齢、見学目的に合った分かりやすい説明を行う。 | ①市内小学校の全校受け入れ（市立54校＋その他）及び一般団体の受け入れ 受け入れ団体数 90団体 併せて小学生へは、ごみダイエットチェック表及びレジ袋削減パンフレットを配布 | ①受け入れ団体数 83団体 ・見学者数 3,986人 | 80%以上 | A | | |

平成30年度ごみ処理実施計画 具体的施策一覧

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|----------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | |

基本施策 1-7 分別の徹底とわかりやすい啓発活動の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|--------------------------------|---------------|--|--|---|---|-------|---|--|--|
| 1-7-1 | 分別の徹底に向けたわかりやすい啓発活動の推進 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | 家庭へは、「ごみの出し方保存版」、「家庭用資源物・ごみ収集カレンダー」及びゴミ通信等の冊子を活用した啓発のほか、住民説明会・出前講座の開催、分別強調月間における巡回指導等により周知徹底を図ります。事業所へは、「事業ごみの分け方・出し方」や「事業ごみ減量マニュアル」等を活用し、商工団体等とも連携した啓発活動を推進します。 | ①ごみの出し方保存版、ごみ収集カレンダーによる分別啓発や分別徹底に関する記事の掲載（えこねこ通信11号） ②広報ながの、FMラジオ、有線放送等による啓発 ③事業所から出るごみの処理方法についてホームページを整備、事業所訪問等の機会に排出事業者責任について啓発 ④広域ごみ焼却施設の平成30年度中の稼働に合わせた新たな分別方法の検討とその周知啓発 | ①ごみ収集カレンダー及びえこねこ通信の掲載回数 1回（2月） ②広報ながのの5回掲載、FMラジオ10回放送（再放送含）、有線放送12回（再放送含） ④広域ごみ焼却施設稼働に対応する新たな分別方法について検討し、ごみの出し方保存版の改定や地区説明会実施 | ①④ながの環境エネルギーセンター稼働に伴い、ごみの出し方保存版を刷新、全戸配布 発行部数 190,000部 また、えこねこ通信第11号へも家庭灰の出し方、ビン、剪定枝葉等の出し方のポイントを掲載 ②7回 ③多量排出事業所へ減量計画書提出依頼と併せて排出事業者責任に関するチラシを配布 ④ながの環境エネルギーセンター稼働に伴い、家庭灰の排出方法の変更 ビンの日→可燃ごみの日 住民自治協議会あてメールで一斉通知 ・北信保健衛生施設組合離脱に伴う説明会の実施 区長あて説明会 1回 環境美化代表者説明会 1回 | 80%以上 | A | | |
| 1-7-2 | 分別・排出指導の徹底 | ごみ収集啓発 | 分別の不徹底や排出ルール違反ごみに対しては、地域や集合住宅管理者と連携しながら個別指導を含め指導を強化していきます。 | ①分別強調月間に各地区役員と協力し、分別指導を実施 ②ルール違反ごみを調査し、排出者が特定できた場合は個別指導を実施 ③ルール違反が多い集積所の重点的指導 ④家庭ごみの組成調査の実施 | ①分別強調月間の巡回指導 12地区 紙類の分別の徹底をテーマにし、可燃ごみの減量を図る ④年1回 | ①10地区 ②指導件数38件 ③信州大学生にごみアプリを紹介 ごみの分別方法を紹介 ④年1回 | 80%以上 | A | | ②H31.2末時点 |
| 1-7-3 | 住民自治協議会・ながの環境パートナーシップ会議等との連携強化 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | 住民自治協議会（環境担当部会）や自治会等と連携し、住民説明会や出前講座において発生抑制や各地域の課題について啓発・指導を進めていきます。また、生ごみや容器包装類削減については、ながの環境パートナーシップ会議、NPO、市民活動団体等との連携を強化し、取組を推進します。 | ①環境美化役員説明会で、ごみの分別、集積所の管理について説明 ②分別強調月間に集積所の巡回指導を実施し、巡回結果について地区に報告を行い、改善を促す ③住民自治協議会（環境担当部会）や環境パートナーシップ会議「生ごみ削減・再生利用プロジェクト」と連携し、生ごみ堆肥化や生ごみ堆肥化と一次生成物を混ぜた土から野菜と花づくりを呼びかける（一次生成物の利用方法） | ①32地区 ②分別強調月間の集積所の巡回指導結果を地区に文書報告 12地区 ③研修会開催 安茂里地区 | ①31地区 ②10地区 ③各種研修会を開催 「生ごみを土に戻すことの重要性とその意義」 | 80%以上 | A | | 分別強調月間 テーマ ・プラスチック製容器包装を正しく分別しましょう ・剪定枝葉等を正しく出しましょう サブテーマ ・スプレー缶を正しく出しましょう ・紙を正しく分別しましょう |
| 1-7-4 | 住民説明会・出前講座の実施 | ごみ収集啓発 | 住民説明会や出前講座の開催により分別や適正排出について周知啓発を図ります。 | ①分別や適正排出についての住民説明会や出前講座等の開催 | ①開催回数40回 | ①36回 | 80%以上 | A | | 出前講座 14回 豊野地区説明会 2回 段ボール講座 20回 |
| 1-7-5 | 搬入時の分別指導の徹底 | 清掃センター | 清掃センター搬入時の展開検査や指導により、分別の徹底を図ります。 | ①許可業者搬入車両に対する抽出開披検査の実施（分別の徹底及びルール遵守を図る。） | ①検査回数/5回 (可燃ごみ、不燃ごみ) | ① ・清掃センターでの展開検査 7回 ・ながの環境エネルギーセンターでの展開検査 8回 | 80%以上 | A | | |

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|----------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | |

基本施策 1-8 不法投棄対策の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|--------------------------|-------------------|---|---|----------------------------------|---|-------|---|--|--|
| 1-8-1 | ごみゼロ運動等地域美化活動の推進 | ごみ収集啓発・環境保全温暖化対策課 | ポイ捨てや不法投棄のない清潔なまちづくりの実現と市民の美化意識の向上を図るため、地域の環境美化活動を推進します。 | ①クリーン長野運動推進本部への補助 ②住民自治協議会と連携し、市内全域で「ごみのない美しい環境をつくるため「ゴミゼロ運動」を実施 | ①補助金額100万円 ②地区環境美化活動のごみ回収 | ①クリーン長野運動推進本部が6月に解散後継団体「長野エコ活動推進本部」が10月に設立 長野エコ活動推進本部に補助金50万円交付 ②14,405kg（参加人数 50,426人） | 80%以上 | A | | |
| 1-8-2 | 地域と連携した不法投棄されにくい環境づくりの推進 | ごみ収集啓発 | 不法投棄多発地帯については、啓発看板・投棄防止ネット・監視カメラなどを設置するとともに、投棄物の早期回収を行い、不法投棄されにくい環境づくりを推進します。 また、不法投棄及びごみのポイ捨ての防止に向けて、地域と連携を図りながら啓発活動を推進します。 | ①不法投棄監視カメラの設置 ②不法投棄防止ネットを設置 | ①随時 ②随時 | ①4台 ②要望なし | 80%以上 | A | | |
| 1-8-3 | 監視の徹底 | ごみ収集啓発 | 市民及び地区役員の通報体制や関係機関との連携強化、民間委託によるパトロールの実施など監視体制を継続的に強化することにより、不法投棄の未然防止、早期発見に努めます。発見した不法投棄に対しては警察等関係機関とも連携しながら、厳正な対応を行います。 | ①環境部職員による不法投棄パトロール及び回収 ②民間委託によるパトロール及び回収 | ①49日 ②233日 | ①49日 ②233日 | 80%以上 | A | | |

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評価理由等 | 備考 | |

基本方針2 心地よい暮らしづくりに向けた新たな課題への取り組み

基本施策2-1 社会状況の変化に応じた市民ニーズの把握と情報発信の検討

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------|---|---|--|--|--------|---|--|--|
| 2-1-1 | 関係機関と連携したライフステージに応じた分別・排出方法の啓発媒体の検討 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発・消費生活センター・子育て支援課 | 循環を基調とした生活の豊かさと環境の保全を両立させたライフスタイルを提案します。また、+Rに関する情報を提供します。 過剰な消費を抑え、環境に十分配慮した消費生活を実践するため、持続可能な消費を推進します。 単身世帯や子育て世帯等市の啓発が行き届きにくい者に対し、啓発媒体の検討を行います。 | ①長野市インターネット市政放送で、静止画だけではわかりにくいごみの分別方法について、動画を制作。ごみ分別のワンポイントアドバイスを配信する。 ②ごみの出し方、分け方等に関するアプリ活用による情報提供 ③消費生活センター実施の事業でのチラシ配布 ④ながのわくわく子育てメールによるごみ減量・分別に関する情報の配信（生活環境課原稿作成） | ①随時配信 ②ごみの分別辞典や収集日程データをオープンデータサイトに掲載し、民間事業者によるアプリ開発等を促進 また、アプリ等開発者へは、ごみの減量・分別啓発への協力を依頼 ③年3回 ④年1回 | ②長野市オープンデータサイトにごみの分別辞典、収集日程データを掲載 併せてアプリ開発者へは、ごみの減量・分別啓発の協力を依頼 ③年4回 ④大学生向けにSDGsを啓発 信州大学生へはチラシで啓発 長野県立生へは大学祭で啓発 ・ながの環境パートナーシップ会議で「SDGs公開学習会」を開催 | 80~60% | B | | |
|-------|-------------------------------------|-------------------------------|---|---|--|--|--------|---|--|--|

基本施策2-2 排出困難者への支援の検討

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---------------------|---|-------------------|--|------------------|--------|---|------------------|--|
| 2-2-1 | 関係機関と連携した排出困難者への支援の検討 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発・保健福祉部 | ごみ集積所までのごみ出しが困難な世帯に対する収集体制について、社会福祉協議会等福祉団体、住民自治協議会及び市関係部局等と連携し、戸別収集等の新たな収集方法も含め調査、検討を行います。 | ①戸別収集の実施に向けて調査・検討 | | ①全国の取組状況について情報収集 | 60~40% | C | 今後、改めて市内の実態把握を行う | |
|-------|-----------------------|---------------------|---|-------------------|--|------------------|--------|---|------------------|--|

| 基本方針 | | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------------------------|-----------------|--------------------------|---|--|---|-------|----|----------------|----|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | | |
| 基本施策 2-3 食品ロス削減に取り組む活動への支援 | | | | | | | | | | | | |
| 2-3-1 | 各種団体との連携による食品ロス削減への取り組み | ごみ減量企画・消費生活センター | 食品ロスの削減に各種団体と連携して取り組みます。 | ①県・商工会所との協働による食品ロス削減組織の立ち上げ ②商工会議所と連携し、「30・10運動」の街頭啓発の実施 ③消費生活センター窓口及び消費生活センターが実施する事業での啓発チラシの配布 | ②年2回 ③年3回 | ①長野エコ活動推進本部の設立 ②市、県、長野エコ活動推進本部（長野商工会議所）による合同開催 2回 ③消費生活センターが行った出前講座にて啓発チラシを配布（年4回実施） ・FMぜんこうじで食品ロス削減について放送 ・市保健所主催の「食品衛生責任者講習会」で市内全飲食店へ食品ロス削減協力依頼チラシを配布 | 80%以上 | A | | | | |
| 2-3-2 | フードバンク活動への協力・支援 | ごみ減量企画・生活支援課 | フードバンク活動への協力・支援を実施します。 | ①市職員を対象としたフードドライブの実施 ②市有施設を拠点としたフードドライブ開催場所の提供・支援 ③市イベント時におけるフードドライブの支援 ④生活困窮者へ支援する機関との意見交換 | ①年5回 ②年4回 ③年3回 ④信州子ども食堂ネットワーク会議で意見交換、NPO法人フードバンク信州と意見交換 | ①年5回 ②年4回 ③年3回 ④信州子ども食堂ネットワーク交流会出席年1回、フードバンク信州との意見交換年1回 | 80%以上 | A | | | | |
| 基本施策 2-4 新たな啓発施設（複合施設）の活用方法の検討 | | | | | | | | | | | | |
| 2-4-1 | 啓発施設の活用方法の検討 | ごみ減量企画・清掃センター | 啓発施設の活用方法について検討します。 | リサイクルプラザの既存機能に加え、多目的ホール、講座室が充実するため、これらの施設を活用した新規事業を計画 | サンマリーンながのとの共有エリアのアトリウムを積極的に利用したイベントや展示会などの開催 | フリーマーケット、ながの環境フェアの開催会場としてアトリウムを利用。天候に左右されない会場として有効利用した。 | 80%以上 | A | | | | |

平成30年度ごみ処理実施計画 具体的施策一覧

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|----------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | |

基本方針3 環境負荷の低減に配慮した廃棄物処分への取り組み

基本施策3-1 適正な収集運搬体制の構築

| | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------|---------------|---|---|-------------------------|---|-------|---|--|---------------------------------|
| 3-1-1 | 適正かつ効率的な収集方法・運搬体制の検討 | ごみ収集啓発・廃棄物対策課 | 収集方法・回数等について、より効率的なものとなるよう費用対効果を勘案しながら検討を行います。 また、一般廃棄物処理業の許可手続きの見直しを行います。 | ①収集方法・回数等について、より効率的なものとなるよう費用対効果を検証 ②一般廃棄物処理業の許可条件について、引き続き検証・検討 ・平成29年4月1日付け新規許可証交付をもって、一般廃棄物収集運搬業許可については、原則停止 | ①新焼却施設稼働に伴う、収集運搬事業者との協議 | ①搬入の導線等について協議、10/17からながの環境エネルギーセンターへ搬入開始 ②一般廃棄物収集運搬業許可事業者数 217社 ・北信保健衛生施設組合離脱に伴い、東山クリーンセンターで収集運搬許可事業者に対し、H31.4月以降可燃ごみの搬入先が変更になる旨のチラシを配布 ・H31年3月をもって北信保健衛生施設組合から離脱することに伴い、豊野地区の事業者向けにチラシを作成、ホームページへ掲載 | 80%以上 | A | | ②H31.3.1時点 うち積下許可業者12社 |
| 3-1-2 | 環境に配慮したごみ集積所設置の支援 | ごみ収集啓発 | 分別意識の高揚や清潔で住みよいまちづくりのため、自治会等が設置するごみ集積所が環境美化に配慮したものになるように支援します。 | ①ごみ集積所設置及び改修事業補助金の交付 ②カラスよけネットの貸与 | ①小屋タイプ補助件数（設置60棟、改修66棟） | ①設置67、改修81 | 80%以上 | A | | カラスよけネット補助 44地区 77枚 |
| 3-1-3 | 収集運搬業者等の研修会の実施 | 廃棄物対策課 | 一般廃棄物収集運搬業許可事業者に対する研修会を実施します。 | ①更新許可（指定）事業者に対する講習会の開催 | ①開催回数 3回 | ① 3回 | 80%以上 | A | | ながの環境エネルギーセンター稼働に伴う他市町村との調整、講習会 |

基本施策3-2 効率的な廃棄物行政の推進

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------|---------------|---|---|---|--|--------|---|--|---|
| 3-2-1 | ごみ処理の効率化に向けた処理費用の分析 | ごみ減量企画 | 一般廃棄物会計基準に基づく処理費用の分析を行い、ごみの種別や作業部門ごとの費用（原価）について経年変化を検証し、ごみ処理の効率化を推進します。ごみ処理コスト（収支）については広く市民に公表し、廃棄物処理にかかる費用の透明化を図ります。 | ①H29年度ごみ処理コストを算出し、ごみ処理概要及びホームページ等へ掲載 ②環境省一般廃棄物処理事業実態調査の取りまとめ結果をホームページへ掲載 | ①環境省一般廃棄物会計基準によりごみ処理経費を算出 年1回 ②年1回 | ①年1回 ②年1回 長野地域振興局のホームページとお互いにリンクを貼り、県内の状況等と閲覧しやすくした。 | 80%以上 | A | | |
| 3-2-2 | 一般廃棄物処理手数料体系の検証 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | 平成21年10月に導入した家庭ごみ処理手数料有料化制度、清掃センターごみ処理搬入手数料の改定については、ごみ量や手数料収入の動向等を十分に分析し、処理手数料の検証を行います。 | ①ごみ処理手数料を見直し 審議会へ諮問 ②有料化導入に伴う減免措置として一定枚数の指定ごみ袋を交付 | ②制度について周知を行う | ① 5/14審議会へ諮問 11/13答申 ②高齢者サービスガイド、障害福祉サービスガイドに掲載 | 80%以上 | A | | 家庭ごみ処理手数料は据置清掃センター手数料の可燃ごみは値下げ、一時的に多量に発生するごみ、特定家庭用機器廃棄物、犬猫等の死体処理費は値上げとした。 |
| 3-2-3 | ゴミ通信等の広告媒体としての活用検討 | ごみ減量企画 | ゴミ通信への広告の掲載など、新たな財源の確保に向けた検討を行います。 | ①えこねこ通信への広告掲載の継続 | ①新たな広告主の確保 | ① 2社 | 80%以上 | A | | |
| 3-2-4 | 処理困難物自主回収の推進 | ごみ減量企画・ごみ収集啓発 | 市処理施設で処理できないもの（処理困難物）については、販売・製造業者等に対して自主回収を要請するほか、回収ルート構築に関して、国や全国都市清掃会議等に対して働きかけを行います。 | ①全国都市清掃会議における研究及び国等関係機関への要望 ・北陸東海地区適正処理困難指定廃棄物対策協議会を通じた周辺自治体との情報共有 | ①カセット式ガスボンベ等を適正処理困難指定廃棄物へ追加指定するよう全国都市清掃会議を通じて継続して要望するとともに、爆発・危険性、有害性を有する製品について、販売店及び製造事業者による自主回収・処理システムの構築を要望 | ①スプレー缶、カセット式ボンベ、充電式電池等爆発・危険性を有する製品の適正処理困難指定廃棄物へ追加指定するよう全国都市清掃会議において国へ要望 本市においてもスプレー缶、カセットボンベ、充電式電池の回収方法を検討 ・スプリングマットレスの処理許可業者に2社追加 | 80~60% | B | | |

平成30年度ごみ処理実施計画 具体的施策一覧

| 基本方針 | | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|---------------------------|--------------------------------------|---|--|---|---|--------|----|------------|------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当課 又は係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評価理由等 | 備考 | | |
| 3-2-5 | 新たな資源化ルート の検討 | ごみ減量企画・ ごみ収集啓発・ 環境保全温暖化 対策課 | 市ごみ処理施設で資源化できない品目について、新たな資源化ルート構築の可能性について検討を進めます。 | ①生ごみの資源化等について検討 ②民間の処理施設で堆肥・チップ化している剪定枝葉の効率的なバイオマス利活用について検討 ③水銀使用製品の分別回収ルートの確立 | ①地域等から提案のあった生ごみ資源化の実現に向けて検討 ②剪定枝葉バイオエタノール化の検討(実証事業の実施主体等継続検討) ③体温計や血圧計などの水銀使用製品の回収方法の検討 | ①先進地（軽井沢）を視察 ②平成28年度の（一財）地方自治研究機構との共同研究の成果により技術的、経済的に実現可能性が示唆されたが、実証が必要との結論を得た。それを基に、市として今後の方針を検討し、実証事業の実施主体等継続検討した。 ③水銀含有製品（水銀体温計、蛍光灯等）を適正処理困難指定廃棄物に追加指定するよう全国都市清掃会議において国へ要望 | 60~40% | C | | | | |
| ◆基本施策3-3 ごみ処理施設の整備 | | | | | | | | | | | | |
| 3-3-1 | 安全で安定的な処理の継続実施 | 清掃センター | 長野広域連合が大豆島地区に計画している広域ごみ焼却施設の整備・稼働までの間、長野市清掃センター焼却施設について、中期保全計画に基づく適切な設備改修工事等の実施により、引き続き安全で安定的な処理を実施します。 焼却灰等については、外部搬出により、適正かつ安定的に埋立処分を実施するほか、再資源化を促進していきます。 | ①焼却施設、資源化施設、最終処分各施設の計画的な整備 ②天狗沢最終処分場の埋立終了に伴い、焼却灰等を全量外部搬出により最終処分 | ①焼却施設、資源化施設のオーバーホール工事、最終処分場水処理施設補修工事等の実施 ②安定的な処分場の確保に努めるとともに、焼却灰の一部については資源化処理を実施 | ①焼却施設、資源化施設のオーバーホール工事、最終処分場水処理施設補修工事等を実施 ②焼却灰等外部搬出処理委託量（工事による不燃ごみ搬出量も含む） 7,333 t | 80%以上 | A | | | | |
| 3-3-2 | 環境調査等の実施 | 清掃センター | 市ごみ処理施設周辺の大气測定等環境調査を定期的に行い、測定結果を公表します。 | ①清掃センター周辺3地点で、有害大気汚染物質等25項目について環境調査を実施、測定結果を迅速に公表 | ①環境調査 年4回 | ①環境調査 年4回 (6月、8月、11月、1月) | 80%以上 | A | | | | |
| 3-3-3 | 長野広域連合ごみ処理施設の整備促進 | 準備室 | 長野広域連合が大豆島地区に計画している「広域ごみ焼却施設」の平成30年度中の稼働に向け、着実に事業推進を図ります。 | ①地元住民と協議を図りながら、地域の安全に十分配慮し、施設整備を進める。 | | ①ながの環境エネルギーセンターがしゅん工。9月から試運転を開始、2月末にしゅん工、3月から本稼働を開始。 | 80%以上 | A | | 実績は見込みを含む。 | | |
| 3-3-4 | 新たな広域ごみ焼却施設建設に伴う清掃センターの整備 | 清掃センター | 広域ごみ焼却施設建設に合わせ資源化施設等を改修するとともに、新焼却施設稼働後に現焼却施設等を解体し、跡地の一部に資源物等ストックヤードを移設・整備します。 | 広域連合の建設計画との調整を図りながら、新焼却施設稼働に向け、清掃センター施設の改修・整備を進める。 | ・新焼却施設稼働に向けた資源化施設改修工事を実施 ・ストックヤード建設・焼却施設解体設計支援業務委託の実施 | ・資源化施設改修工事の実施 ・ストックヤード建設・焼却施設解体設計支援業務の実施 ・名称を「長野市清掃センター」から「長野市資源再生センター」へ変更 | 80%以上 | A | | | | |
| 基本施策3-4 災害廃棄物対策 | | | | | | | | | | | | |
| 3-4-1 | 災害廃棄物処理計画の継続的な見直し | ごみ減量企画 | 国が策定した「災害廃棄物対策指針」に基づき、必要な見直しを行います。 | ①災害廃棄物処理チームの打合せ ②災害対策本部各班個別対応マニュアルの見直し ③大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会に参画 | ①1回 ②見直しの実施 ③協議会、情報伝達訓練及び図上演習への参加、意見交換 | ①②本庁舎図上演習を実施 ③協議会2回、セミナー1回、情報伝達訓練1回、図上演習1回 | 80~60% | B | | | | |

平成30年度ごみ処理実施計画 具体的施策一覧

| 基本方針 | | | | | | | | | | H30第3回審議会 (H31/3/28) 参考資料1 | |
|--|-------|----------------|--------|----------|--------------|--------|-----|----|----------------|-------------------------------|--|
| 基本施策（第二次長野市環境基本計画後期計画において主要施策としているものには◆） | | | | | | | | | | | |
| 施策番号 | 具体的施策 | 担当 又は 課係 | 施策内容説明 | H30 計画概要 | H30 計画数値（目標） | H30 実績 | 達成度 | 評価 | C・D・E評 価理由等 | 備考 | |

基本方針4 計画を推進していくための取り組み

基本施策4-1 PDCAサイクルによる計画（施策）の進行管理

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|--------|--|--|-----|--|--------|---|--|--|
| 4-1-1 | ごみ処理実施計画による施策の実施 | ごみ減量企画 | 本計画で定めた各種施策について、毎年度定めるごみ処理実施計画で事業計画など必要な事項を定めるとともに、数値化できるものは数値目標を掲げ、目標達成に向けて各事業を実施します。 | 実施計画の策定 | 年1回 | 4月策定・3回改定（年4回施行） | 80%以上 | A | | |
| 4-1-2 | 数値目標と実績との比較によるごみ処理の評価 | ごみ減量企画 | 実施計画に基づく施策の実施状況や数値目標の達成状況等について、長野市廃棄物減量等推進審議会にて報告・審議を行い、評価を実施します。 | 長野市廃棄物減量等推進審議会での具体的施策の審議 | 年1回 | 年1回（3月） | 80%以上 | A | | |
| 4-1-3 | まちづくりアンケートの活用 | ごみ減量企画 | まちづくりアンケートや国の環境白書を活用し、満足度調査や市民意見の募集を行います。 | ①まちづくりアンケートの活用分析 ②国環境白書で3Rに関する意識調査の活用分析 | 年1回 | 年1回 | 80%以上 | A | | 市民満足度 「ごみ分別を徹底している」 H30 92.5%←H28 93.3% 「身の回りにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている」 H30 47.3%←H29 58.6% |
| 4-1-4 | 計画の中間評価（見直し）の実施 | ごみ減量企画 | 実施計画による施策の推進状況やごみを取り巻く社会的状況の変化等を踏まえ、平成30年度に本計画（基本計画）の中間評価（見直し）を実施します。 | ①長野広域連合が設置する新焼却施設稼働に伴い、計画の見直し準備を行う | | ながの環境エネルギーセンター稼働に伴う経費の推移、最終処分物の発生量等を把握 | 80~60% | B | | |